

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

公表日: 2020年 12月 9日

事業所名: 児童発達支援 すぴーる

サービス種類: 児童発達支援

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 |
|----------|--|--|---------------------------------------|------------------------------|
| 環境・体制整備 | 1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保 | 規定における十分なスペースを確保しています | ・はい 100% | 今後も十分なスペース確保を継続していきます |
| | 2 職員の適切な配置 | 基準を満たす職員配置を行うとともに、プレイルーム内の掲示スペースに顔写真・氏名・職種を明記した職員紹介ボードを設置しています | ・はい 90% ・どちらともいえない 5% ・わからない 5% | 今後も適切な職員配置をおこなっていきます |
| | 3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備 | スケジュールの視覚化(写真・絵カード・文字)など1人1人の特性に応じた対応をおこなっています | ・はい 89% ・いいえ 11% | 今後も1人1人の特性に配慮しながら柔軟に対応していきます |
| | 4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保 | 清掃・除菌を個別・集団療育入れ替え毎に実施し(概ね1時間に1回程度)、温度・湿度調整のためエアコンや加湿器、空気清浄機を設置しています | ・はい 100% | 今後も継続していきます |
| 業務改善 | 1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画 | 支援方法や療育内容について、毎回職員間で話し合いや振り返りを実施しています 業務遂行のため職員用マニュアルを作成し共有しています | | 今後も継続していきます |
| | 2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施 | 現在のところ実施予定はありません | | 必要に応じて実施していきます |
| | 3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保 | コロナの影響もあり、外部研修の受講は不十分な状況ですが専門職員による社内研修及び事例検討を定期的に行っています | | 今後も継続して実施していきます |
| 適切な支援の提供 | 1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成 | アセスメントシートを作成し、保護者やお子さんのニーズの聞き取りを実施し、職員間で会議をした上でサービス計画を作成しています | | 今後も継続して実施していきます |
| | 2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成 | お子さんの状況や保護者の意向を考慮し、曜日や参加プログラム(個別・集団療育・OT)を設定し1人1人に合わせたサービス計画を作成しています | ・はい 91% ・どちらともいえない 9% | 今後も継続して実施していきます |
| | 3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載 | 兵庫県の様式を参考に、必要な項目の設定及び具体的な支援内容を記載するよう心がけています | | 今後も継続して実施していきます |

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 | |
|--------------|--------|--|---|--------------------------|---|
| 適切な支援の提供(続き) | 4 | 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施 | 職員間で個々の支援計画を周知し、支援計画に基づいた個別・集団プログラムを立案・提供するようにしています | ・はい 94% ・どちらともいえない 6% | 今後も支援計画に基づき、お子さんの現状と支援内容を照らし合わせながら、適切な支援が実施できるようにしていきます |
| | 5 | チーム全体での活動プログラムの立案 | 個別・集団プログラムともに、毎回職員間で振り返りを実施し、次回の療育内容を立案しています | / | 今後も継続して実施していきます |
| | 6 | 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援 | 長期休暇中は生活リズムが整いにくいことなども考慮し、身体を動かす活動を多めに取り入れるようにしています | | 今後もお子さんの様子をみながら継続して実施していきます |
| | 7 | 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施 | 個別・集団プログラムともに、毎回職員間で振り返りを実施し、次回の療育内容を立案しています また、制作活動もクリスマスやハロウィンなど季節に合わせた内容になるよう心がけています | | ・はい 100% |
| | 8 | 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底 | 毎日、午前・午後に打ち合わせの時間を設け、その日のスケジュール確認や療育内容、職員の役割分担について話し合いをおこなっています また毎日の療育内容を視覚化し、職員内で共有できるよう努めています | / | 今後も継続して実施していきます |
| | 9 | 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化 | 午前・午後の療育終了後に随時振り返りを実施しています パート職員も情報共有できるよう、職員間での引継ぎノートを作成し情報を共有しています | | 今後も継続して実施していきます |
| | 10 | 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施 | 療育記録は当日中に作成し、客観的かつ具体的な記録内容になるよう心がけています 療育前には、前回の療育記録の読み返しをおこない、疑問があれば確認するようにしています | / | 今後も継続して実施していきます |
| | 11 | 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し | 年に2回のモニタリングの実施以外にも、保護者からの希望があれば随時面談を実施しています その中で、支援計画内容の見直しなども随時おこなっています | | 今後も保護者との面談をとおして支援計画の見直しをおこなっていきます |

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 | |
|----------|--------|---|---|---|--|
| 関係機関との連携 | 1 | 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画 | 児童発達支援管理責任者と、直接保護者やお子さんの支援を担当している職員とで対応させていただいています | | 今後も他事業所との連携を図っていきます |
| | 2 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施 | | | |
| | 3 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備 | | | |
| | 4 | 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有 | 保育所やこども園、幼稚園と保護者間で支援内容を共有することを了承いただいた場合には実際の療育場面を見学していただきながらお子さんの支援内容や課題について三者で情報を共有させていただいています | | 今後も継続して実施していきます |
| | 5 | 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供 | | | |
| | 6 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進 | 必要に応じて児童発達支援センターとの連携をとらせていただいています また職員間で研修情報の共有もおこなっています | | オンライン研修など今後も安全に配慮しながら研修に参加していけるよう努めていきます |
| | 7 | 児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供 | 現時点では交流の機会は設けていません | <ul style="list-style-type: none"> ・はい 18% ・どちらともいえない 29% ・いいえ 24% ・わからない 29% | 今後、保護者の意向も考慮し必要であれば検討していきます |
| | 8 | 事業所の行事への地域住民の招待など地域に関われた事業の運営 | 現時点では地域の住民の方を招待しての行事などの予定はありません | | 今後、保護者の意向も考慮し必要であれば検討していきます |

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 | |
|----------------|--------|--|---|---|--|
| 保護者への説明責任・連携支援 | 1 | 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明 | 初回利用契約時に重要事項説明書や支援内容、利用者負担等についての説明を実施しています | ・はい 100% | 今後も継続して実施していきます |
| | 2 | 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明 | 事前の施設見学・体験時に保護者からの聞き取りとお子さんのアセスメントを実施し、初回利用契約時に計画書を提示して支援内容の説明を実施しています | ・はい 100% | 今後も継続して実施していきます |
| | 3 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施 | 親子同伴療育のため、実際の遊び(療育)の中で保護者に対し関わり方のポイントなどを療育毎に個々にお伝えするよう努めています | ・はい 76% ・どちらともいえない 12% ・わからない 12% | 今後も継続して実施していきます |
| | 4 | 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底 | 親子同伴療育のため、療育毎にお子さんに実施している支援内容や課題について保護者にお伝えするようになっています | ・はい 94% ・どちらともいえない 6% | 今後も継続して実施していきます |
| | 5 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施 | 保護者から相談があった際にはその都度聞き取りや助言をおこなうように努めています | ・はい 94% ・わからない 6% | 今後も継続して実施していきます |
| | 6 | 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援 | 現在、保護者会はありません | ・はい 18% ・どちらともいえない 24% ・いいえ 34% ・わからない 24% | 必要に応じて検討していきます |
| | 7 | 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応 | 苦情・相談窓口を設置し、重要事項説明書にも記載しています また、ご意見や苦情があった場合には迅速に対応するよう努めています | ・はい 58% ・どちらともいえない 18% ・わからない 24% | 今後も、保護者からいただいたご意見に対しては迅速に対応するよう努めていきます |
| | 8 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮 | 療育内容を視覚化しスケジュール提示することで療育に対する見通しがもてるようにしています また、保護者向けのお知らせなどは掲示スペースへの貼りだしやお知らせメールなどを利用し情報を伝達しています | ・はい 82% ・どちらともいえない 12% ・わからない 6% | 今後も継続して実施していきます |
| | 9 | 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信 | 定期的な会報等の発行は実施していません お知らせなどは掲示スペースに提示させていただいています | ・はい 35% ・どちらともいえない 35% ・いいえ 18% ・わからない 12% | 必要に応じて検討していきます |
| | 10 | 個人情報の取扱いに対する十分な対応 | 個人情報が含まれる記録物などは施錠できる書庫に保管しています 職員については、職務時間外に職務上知り得た個人情報を漏らすことのないよう周知しています | ・はい 82% ・どちらともいえない 6% ・わからない 12% | 今後も継続して実施していきます |

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 | |
|---------|--------|--|---|---|-----------------|
| 非常時等の対応 | 1 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底 | 各種マニュアルを作成し一冊にまとめ、初回利用契約時に重要書類として保護者に説明・配布しています 職員に対しても周知を図っています | ・はい 100% | 今後も継続して実施していきます |
| | 2 | 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施 | 今年度は11月に火災を想定した訓練を実施しました 事前の職員間での打ち合わせや、事後の振り返りなどを実施しています | ・はい 29% ・どちらともいえない 12% ・いいえ 12% ・わからない 47% | 今後も継続して実施していきます |
| | 3 | 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応 | 社内で虐待防止の研修を実施しています | | 今後も継続して実施していきます |
| | 4 | やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載 | 現在、該当するお子さんはいらっしゃいません | | |
| | 5 | 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応 | 事業所内での食事提供はありませんが、契約時に保護者に記載していただくプロフィール票でアレルギーの有無についての確認をおこなっています | | 今後も継続して実施していきます |
| | 6 | ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底 | ヒヤリハットファイルを作成し、職員全員で閲覧し再発防止に努めています | | 今後も継続して実施していきます |